

科目名		医療セーフティマネジメント学特論			担当教員名	飯干 泰彦、江原 一雅
該当DP	1	単位数	2単位	必修	配当年次	1年次・第1セメスター（通期）
曜日・時限		土曜日・3限目			教室	視聴覚大講義室
授業概要						
最初に、これまでの医療安全の歴史をもとに、現在の医療安全の基本的考え方を、次にヒューマンエラー、ノンテクニカルスキル、チーム医療、エラー分析法などを学ぶ。そのうえで、院内安全管理の指導的立場の者に必要とされる、職種横断的組織および院内安全管理体制の構築、エラー再発防止策、レジリエンス・エンジニアリング等を学ぶ。						
到達目標						
1) 現在の医療安全の基本的考え方を説明できる。 2) ヒューマンエラーとチーム医療の視点から、ノンテクニカルスキルの重要性を説明できる。 3) 職種横断的組織および院内安全管理体制を構築する仕組みを理解できる。 4) エラーの根本原因を分析し、レジリエンス・エンジニアリング等も含めた再発防止策を立案できる。						
回	日程	見出し	内 容			実践的な 授業方法
1	4/12	医療安全に用いる用語	医療安全に用いる用語、情報の入手方法の基礎を学ぶ。			
2	4/19	医療安全の歴史(1) (江原)	医療安全に対する考え方が形成された歴史と医療安全の基本的考え方を学ぶ。			
3	4/26	医療安全の歴史(2) (江原)	医療安全の歴史をもとに、これを実践するために必要な考え方を学ぶ。			
4	5/10	ヒューマンエラー	医療事故を予防するため、ヒューマンエラーおよびその背景となるヒューマンファクターを理解し、事故防止策を立案する。[グループディスカッション]			○
5	5/17	ノンテクニカルスキルと チーム医療	チーム医療におけるノンテクニカルスキルの重要性を理解し、スキルアップ法を学ぶ。[グループディスカッション]			○
6	5/24	新たな安全マネジメント の基礎	レジリエンス・エンジニアリング、Safety I とSafety II、WAIとWAD、ETTO、FRAM分析等の基礎を学ぶ。			
7	5/31	わが国における医療事 故の現状把握	厚生省などが公開するデータから、医療事故の現状を把握する方法を学ぶ。			
8	6/7	院内安全管理体制	院内安全管理の指導的立場の者に必要とされる、職種横断的組織および院内安全管理体制の構築方法を学ぶ。[グループディスカッション]			○
9	6/21	タスク・シフト/シェアと 医療安全	タスク・シフト/シェアと医療安全を考える。[グループディスカッション]			○
10	6/28	エラー分析法(1)	エラーの根本原因分析法を理解する。[グループディスカッション]			○
11	7/5	エラー分析法(2)	エラーの根本原因分析法を理解する。[グループディスカッション]			○
12	7/12	エラー防止各論	薬剤・医療機器関連事故の再発防止策を立案する。[グループディスカッション]			○
13	7/19	医療安全の新しい考え 方(1)	医療安全の最新の考え方を学ぶ。(特別講師：中村京太先生)			
14	7/26	医療安全の新しい考え 方(2)	医療安全の最新の考え方を学ぶ。(特別講師：中村京太先生)			
15	8/2	FRAM分析	FRAM分析を理解し、FRAM図を作成する。[グループディスカッション]			○
キーワード		ヒューマンエラー、ノンテクニカルスキル、 レジリエンス・エンジニアリング、医療安全			履修条件	なし
教材 等	教科書(要事前購入)		特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。			
	参考書(任意購入)		特に指定しない。			
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①授業への参加状況(20%)、②レポート(80%) [①授業への積極的参加、②事故事例を分析し再発防止策を立案できるか、安全管理体制の構築を提案できるか、などを評価する。]				
授業時間外に必要な学修		事前に講義資料を確認すること。講義の進展に合わせて、自施設での安全管理体制の構築案を各自でまとめる。				
学生へのメッセージ		自らが院内安全管理の指導的立場に立つという気概で授業に臨んでください。				

※ 授業の日程については変更する場合があります。